

SMART THINKING GREEN GOING PLACES PRO-BUSINESS PRODUCTIVE GLOBAL INNOVATING CREATIVE CONVERGING WINNING VIBRANT WELCOMING IRELAND, WHERE ELSE?

# Ireland

## Where else?

アイルランド  
まさにうってつけの国



Ireland is open for  
business

アイルランドは企業の進出を歓迎します

As future economic, financial & social paradigms evolve, inventive

将来の経済・金融・社会パラダイムが進化する中、イノベーション国家アイルランドは、新たなチャレンジに向けて態勢を整え、成長への大きな可能性に溢れる活気に満ちた未来に向けて取組みを強化します。アイルランド政府の外国直接投資振興機関であるアイルランド政府産業開発庁（IDA）は、明るい世界観を持つ適応力ある国民と共に、アイルランドのスマート・エコノミーに企業をお迎えいたします。

IDA, Ireland's investment promotion agency, invites you to share in the benefits of a smart economy fuelled by adaptable people who share an optimistic world view

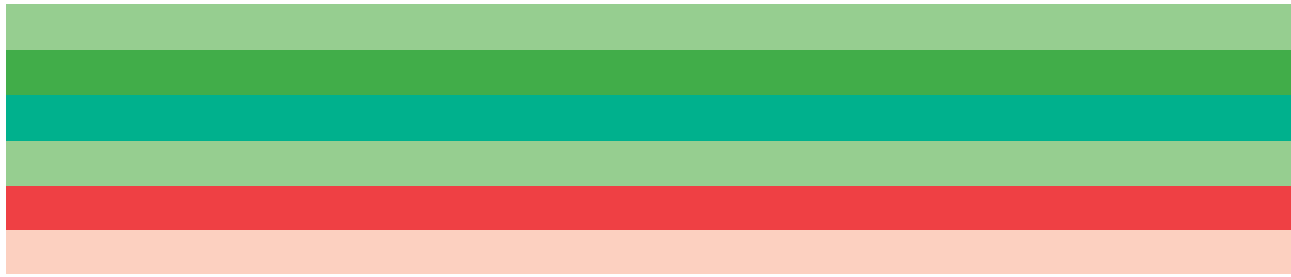
# Ireland Where else?

アイルランド  
まさにうってつけの国

企業の成長意欲を満たし、新しい可能性の実現に向けた熱意と能力に出会える場所

Location 53°N 08°W  
Size 70,273 sq km  
Population 4.4 million  
% of Population under 25 34%  
Currency Euro

位置：北緯53度 西経08度  
面積：70,273㎡  
人口：440万人  
25歳未満の人口の割合：34%  
通貨：ユーロ



# Where Ireland is coming from

アイルランドの原点

アイルランドの原点は「強い」地域性にあります。同国の戦略的位置は欧州・米国両大国の中心軸。まさに国際貿易の中核にあります。世界一流企業の誘致と関係構築における実績では、アイルランドは世界無比であることがIDAのデータから浮かび上がります。今日のアイルランドは、政治的・経済的・技術的な融合の面で、世界屈指のグローバル経済国です。過去10年間、アイルランド経済は欧州で最も急成長を遂げました。

これがアイルランドの原点です。  
皆様も一緒に成長を体験しませんか？

**首都：**ダブリン

**その他主要都市：**コーク、ゴールウェイ、キルケニー、リムリック、  
ウォーターフォード、アスローン、レタケニー、ダンドーク、スライゴ

**主要貿易相手国：**英国、米国、ユーロ圏、オーストラリア、アジア

**主要産業：**情報通信技術（ICT）、ライフサイエンス、金融サービス、  
グローバルビジネス（デジタル・メディア、エンジニアリング、消費者  
ブランド、国際サービスなど）

**GDP：**1,840億ユーロ（2008年）

アイルランドはおそらく先進経済圏で最も開放的な国です。開放的とは国際貿易の活況の恩恵を受けているということであり、また国際市況の変化に常に適応しなければならないということでもあります。

グローバル企業から事業拠点として選ばれるため、IDAは独自の対応姿勢を打ち出しています。経済基盤は健全であり、国民の創造性、活力は抜きん出ています。特にアイルランドは高価値製造業、国際ビジネス・サービス、イノベーション創出型研究開発のプロジェクト確保に重点を置いています。さらにクリーン・テクノロジー、サービス・イノベーション、コンバージェンスの新興分野の開発にも力を注いでいます。

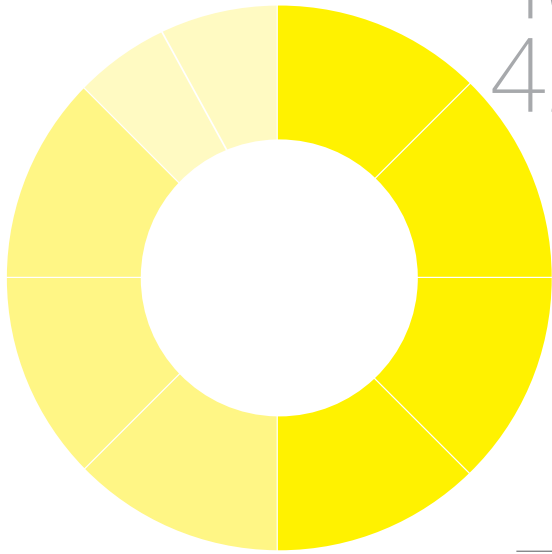
つまり、スマートな人々のための  
スマートな経済  
「アイルランド、まさにうってつけの国」  
です。

# Where Ireland is at

世界におけるアイルランドの位置



IDA国際拠点ネットワーク



48% 米国  
42% 欧州  
5% アジア太平洋  
5% その他地域

対アイルランド直接投資の出所  
2009年

# Where Ireland is changing

## 変化し続けるアイルランド

アイルランドの人口は440万人。増加傾向が続いています。60%が都市部に集中し、40%が地方に居住。英語が一般的に使用されます。

国民は勤勉で長寿。識字率と平均寿命は世界最高水準です。欧州共同体に長年加盟し、現在欧州連合の一加盟国としてユーロを国内通貨とします。変化し続けるアイルランドの貿易相手は全世界。GDPは2278億ドル(2009年)で、うち68%はサービス部門、30%は工業、2%が農林水産部門の生産です。

現代のアイルランドは、美しく安全な環境で活気あふれる多文化・多言語社会を実現しています。

アイルランド経済発展の根底には、変化への対応能力があります。アイルランドは製造拠点として出発し、今や革新性と起業家精神を両輪とする「スマート・エコノミー」に進化し続けています。

アイルランド政府の方針は、断固としてビジネス重視です。産業の担い手である労働者と国民全体も同じ姿勢をとっています。企業活動の成功要素を経済振興のアイデアやイノベーションと組み合わせ、高度な環境、エネルギー安全保障の向上、社会的結束性を推進する経済を「スマート・エコノミー」と呼びます。アイルランドは新「スマート・エコノミー」国として新「スマート・ビジネス」を歓迎いたします。

アイルランドのスマート・エコノミーは模範的な研究・イノベーション・商業化のエコ・システムの上に成り立っています。目標はアイルランドを欧州屈指のイノベーション・商業化のハブ拠点とすること。スマート・エコノミーは同時に「グリーン・エコノミー」でもあり、環境変化への対応とハイテク雇用を相互に促進します。



# Where smart thinking & positive thinking combine

## スマートな思考と プラスの発想がかみ合う場所

スマート・エコノミーの中核をなすのが「コンピテンス・センター(Competence Centres)」の創設です。「コンピテンス・センター」では、7つの産業グループが共同で研究プロジェクトを推進します。同センターはアイルランド政府産業開発庁とアイルランド政府商務庁の提携事業です。初期フェーズでは案件1件当たり最高100万ユーロ相当の政府援助を受けます。「コンピテンス・センター」は産業に直接影響力をもたらす研究を重視しており、ICT、省エネルギー、製造プロセス、バイオエネルギー・バイオ精製における画期的テクノロジーなどを対象とします。

さらなる支援インフラとして、「科学エンジニアリング・テクノロジー・センター(CSET: Centres for Science, Engineering and Technology)」があり、産学両分野の科学者とエンジニアが連携し、応用研究を進めています。最先端を行くCSETの提携プロジェクトの成果

は世界中に送り出され、発展に貢献します。

スマートな思考にはスマートな資金が必要です。この事実に対応してアイルランドの高等教育を含む知識分野に対する投資は過去10年間で年率10%の成長を遂げています。EUとOECDの平均が3%前後である中での伸びです。この間、アイルランド経済全体のイノベーション創出型研究開発への投資額は3倍に成長。うち3分の2が民間部門からの投資です。

ビジネス優遇の環境下で知識を活用し、イノベーション分野で雇用を促進することがアイルランドの将来の中心となるものです。この将来に参加することで、世界的成長の躍動を共に享受しませんか。

スマートでグリーン、ビジネス優遇の  
アイルランドによろこそ！

# International Airports at Dublin, Cork & Shannon Regional Airports at Waterford, Kerry, Knock, Sligo, Galway & Donegal Direct scheduled flights to UK, USA, Europe & Middle East Worldwide sea-freight services

国際空港：ダブリン、コーク、シャノン

地方空港：ウォーターフォード、ケリー、ノック、スライゴ、ゴールウェイ、ドニゴール

定期直行便：イギリス、アメリカ、欧州、中東

世界各地への海上輸送業務



## Where the learning grows

### 学習意欲にあふれる国

学習に対する熱意は、アイルランド全土で感じられます。

若い世代は新時代の思考方法の習得、対応に強い意欲を抱いています。高学歴で高い能力を有するチャレンジ精神溢れる優秀な人材を経営陣は必ずや見つけることができます。

アイルランドは教育大国です。独立機関のIMD世界競争力レポートによると、アイルランドの教育制度は世界最高水準です。25-36歳の年齢層のうち40%以上が高等教育を受けています。アイルランドの学生10人中6人が技術工学、科学、ビジネスの学位を取得して卒業し、また相当な数の学生が2カ国語以上の外国語を習得しています。

最近では欧州、その他の地域の労働者がアイルランドを移住地として選び、この国の労働力の技能の幅を一層豊かなものとしています。

アイルランドの教育機関は産業、中でも科学技術研究分野との提携の重要性を強く認識しています。アイルランドの高等教育機関の多くが産学提携や教育機関同士の連携において、世界最先端なのはこのためです。

従業員の適応力も雇用者にとっては重要な要素です。新たな課題に挑戦する際のアイルランド人労働者の適応力は、米・日・欧のライバル労働者を凌ぐ成果を上げています。

Member of  
European Union since  
1973 1973年EU加盟

Ireland provides access  
to the European market  
of 500 million people

5億人の欧州市場へのアクセス拠点としてのアイルランド

# Where business finds a home

企業のゆるぎない拠点

外国直接投資（FDI）はアイルランドでは目新しいものではありません。国内への外国企業誘致の取り組みが始まったのは20世紀半ばまで遡ります。1969年にアイルランド政府がアイルランド政府産業開発庁を設立、政府による対内直接投資促進の取り組みを本格化させました。

海外の企業や経営者がアイルランドにゆるぎない基盤を見いだしています。

今日のアイルランドは、海外進出の有力拠点として米国、欧州、アジア太平洋地域の企業から強い信頼を寄せられ、最先端の外国直接投資を享受しており、アイルランド経済成功の指標となっています。世界的知名度を誇る国際ブランドをはじめ、1,000社近くの企業がアイルランドでの事業成功の魅力にひかれて、欧州ネットワークのハブ拠点をこの国に置いています。

# 知的財産(IP)創設・活用の 中心地としてのアイルランド

すべての事業取引による利益に  
12.5%の税率を適用

研究開発費に対しては  
25%の税額控除の申請が可能

適格IP資産の取得による  
資本的支出も税控除対象



## Where business finds its place

### 企業が根付く国

外国直接投資は、アイルランドの将来の繁栄に  
欠くことのできないものです。企業活動を重視  
する姿勢によりアイルランドは、2009年の  
「グローバル・イノベーション・サーベイ」の  
外国直接投資の部門でトップ、「ドゥイニング・  
ビジネス・レポート」の「世界でビジネスに  
最適な場所」で7位となりました。

研究開発に対する有利な税制と財政支援制度  
は、海外企業にとって魅力的な国であろうと  
するアイルランド政府の決意の表れです。

国の大胆な雇用目標は、高技能労働力と世界  
的な研究開発能力の積極的協力関係があっ  
てこそ実現可能であると強く認識されています。

今日、アイルランドの高度な製造技術により  
高価値製造分野で継続的な技術革新と持続的  
成功が達成されています。重点が置かれるのは

スマート・エコノミーにおけるクリーン・  
エネルギーの積極的展開です。

企業の繁栄に格好の拠点。  
それがアイルランドです。

Abbott	小林製薬
Accenture	Liebherr
アルプス電気	Medtronic
Amazon.com	Merck
Analog Devices	Microsoft
アステラス製薬	三井住友海上
Axa	Nivalis
Big Fish Games	Novartis
Boston Scientific	オリックス
Business Objects	PayPal
Cameron	Pfizer
Citi	Prudential Financial
第一三共	レクザム
大和証券	Roche
DePuy	Sage

# Where great brands gather

## 偉大なブランドが集う国

国は、そこに拠点を置く企業を通じて世界に名を知られるようになります。アイルランドには世界に名だたる企業が拠点を置いています。ここに記載されているのは、アイルランドで躍進する世界企業のごく一部です。

Facebook	SAP
富士通	Satir
ガーラ	塩野義
Genzyme	Siemens
グッドマン	Solaris Mobile
Google	Synopsys
GlaxoSmithKline	武田薬品工業
Helsinn	Tata Consultancy
HSBC	トレンドマイクロ
IBM	Vodafone
Ingersoll Rand	Wockhardt
Intel	Wyeth
Kellogg's	Zimmer



# Where business finds a home

企業のゆるぎない拠点



# Where people find new purpose

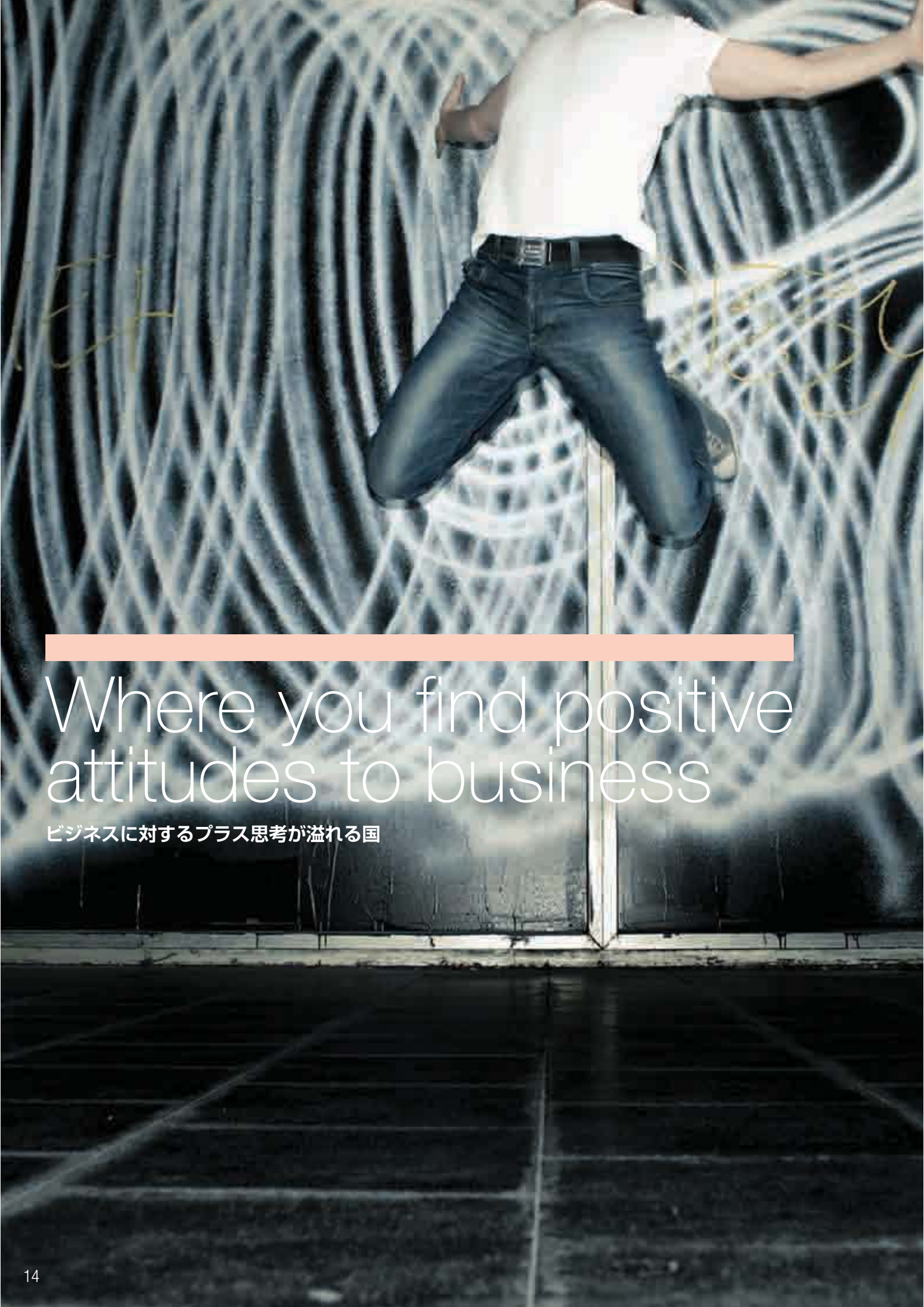
人々が新たな目的を見いだす国



# Where innovative technologies thrive

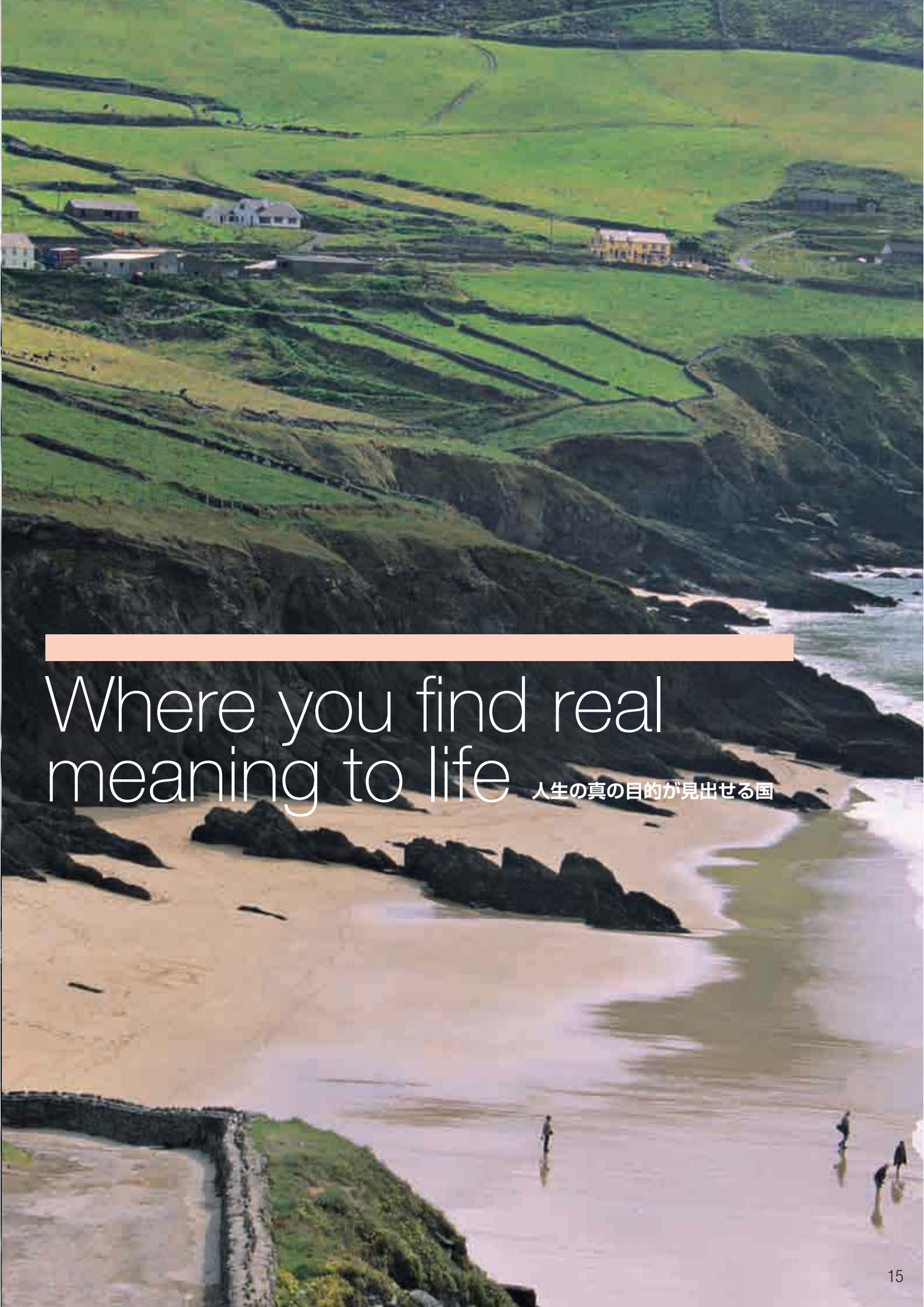
斬新なテクノロジーが躍進する国





# Where you find positive attitudes to business

ビジネスに対するプラス思考が溢れる国



Where you find real  
meaning to life 人生の真の目的が見出せる国

アイルランド国内に貴社にふさわしい場所はあるでしょうか？アイルランド政府産業開発庁の目的は、高価値を有し、高技能を必要とし先進的なビジネス環境で繁栄するような種類の外国直接投資を誘致することです。それでは、アイルランドのどんなところが企業のビジネス戦略を効果的に実践する土台となっているのでしょうか？

アイルランドが一貫して卓越しているのは、ビジネス優遇の姿勢、先進技術の環境、魅力的な法人税率、教育された能力ある人材、国民の前向きな態度と熱意、これらすべてを総合的に組み合わせてきたことです。

アイルランドには現代のビジネスのあらゆる側面において柔軟性と最善を目指す熱意があります。今日までのアイルランドの実績がこれを如実に示し、明るい未来を引き寄せています。

# Where business sectors succeed

## 企業が躍進する国

アイルランド  
まさにうってつけの国。

**ビジネス優遇の環境：**海外のビジネス専門家が常に指摘するのは、アイルランドのビジネス優遇がいかに徹底しているか、同国の法制度および税制度が、先進国中でも屈指の開放的かつ競争的ビジネス環境をいかに作り出しているかという点です。アイルランドは「早期起業家」の割合がOECD諸国中第4位、欧州で第2位です。

**前向きな姿勢：**アイルランド国民は起業家と革新者を圧倒的に高く評価します。ビジネスで成功した人が地域社会で高い地位を得るのは当然と考える市民は85%超（EU平均は69%）、同時に技能とイノベーションの分野でアイルランドはEU平均を大きく上回っています。アイルランドの柔軟性と新たな課題

に挑戦する際の迅速かつ断固とした反応は世界的に有名です。

**研究開発投資：**過去10年間、アイルランドの研究開発投資額は3倍に成長しました。この間の投資額は約25億ユーロ。うち3分の2は民間部門からの投資です。

**ビジネスに対する信念：**政府主導の経済振興、高等教育への重点的投資、外国直接投資の重視、低法人税率、英語ネイティブの労働力、EU市場への近接性と有利なアクセス——こうした要素が総合的に作用する中で、アイルランドは景気低迷に対する抵抗力をつけ、チャレンジと利益チャンスに溢れる未来に踏み出すことができるのです。

アイルランド政府産業開発庁は、外国直接投資の推進と誘致で世界最先端を走り続けるというアイルランドの決意を実現している政府機関です。具体的には次の分野の企業を重点的に誘致、支援しています。

#### 情報通信技術 (ICT)

ライフサイエンス——医療機器・医療技術、  
医薬品、バイオテクノロジー  
国際金融サービス&国際サービス業  
研究開発を重視した高価値消費者製品  
クリーン・グリーン・テクノロジー  
エンターテインメント、デジタル・メディア

国全体が新たなベンチャー・ビジネス、イノベーション、新しい発想や手法によるビジネスをオープンに歓迎しています。貴社のビジネスのご進出も歓迎いたします。

#### ICTについて

アイルランドの情報通信技術 (ICT) 産業は世界中から投資を呼び込み、世界上位10社のうち7社が本国を拠点としています。アイルランドのICT分野は、研究開発、高価値製造、シェアード・サービス、サプライチェーン・マネジメント、ソフトウェア開発、テクニカルサポートを含むハイテク活動全般を網羅しています。業種領域はコンピューターから半導体、テレコミュニケーション、ソフトウェア、各種部品からコピー機に至るまで広範囲に及び、EU加盟国中で最も多く輩出されるアイルランド人理工系人材が支えています。ICT部門はまたアイルランドの輸出額中500億ユーロを占め、企業がこの国の競争力上の優位性と知的基盤経済の恩恵を受けるに従い、今後も増加が見込まれています。アイルランドはOECD加盟国中でも最高水準のICT活動の集中化を実現しました。

#### ライフサイエンスについて

ライフサイエンスは、高付加価値事業の誘致とバリューチェーンの中でアイルランドの地位向上を目指す当庁の戦略の中でも特に重要な部門です。ライフサイエンス企業は、医薬品、バイオテクノロジー、医療機器、診断事業などを業務範囲とします。ライフサイエンス部門は様々な業務活動を通じて約1万7000人の雇用を維持しています。1960年代以来、アイルランドは外国直接投資を通じて世界でも屈指のライフサイエンス部門を発展させてきました。

アイルランドは**医療機器**を中心として医療技術産業の最先端分野を支えています。人口1人当たりの医療技術人材の雇用率は欧州

最高です。世界トップ企業25社のうち15社がアイルランドに製造拠点を置いています。40年以上の実績の上にアイルランドの医療技術産業は、ダイナミックで細やかなサービスを実現する世界的に認められた有力拠点に発展しました。

**医薬品**の世界トップ10社のうち9社がすでにアイルランドに拠点を置き、ブロックバスターと呼ばれる大型医薬品のトップ10のうち7製品がアイルランドで製造されています。アイルランドの**バイオテクノロジー**分野の将来的成功の展望は、イノベーション創出型研究開発への継続的投資と博士号取得者の人材増加により強化されています。

#### 国際金融サービス

250社以上の世界的金融機関がアイルランドで業務を展開し、その多くがダブリンの国際金融サービス・センター(IFSC)を拠点としています。IFSCは国際金融サービスの振興を目的に政府が1987年に設立しました。現在では多数の世界的金融機関が同地に進出し、会計・法務・保険数理・税務・規制・情報通信を網羅した各種サービス提供者者のネットワークによって支えられています。国際金融サービスがチャレンジと変化の新時代を迎える中、電子バンキングも躍進的に発展しています。

#### 未来はクリーン・テクノロジーに

アイルランドは太古の昔より風力と波力に恵まれた、21世紀の先駆的な島国です。アイルランドの自然環境は新たなクリーン・テクノロジーの発展と代替エネルギーの開発に格好の場です。同国のクリーン・テクノロジー分野における潜在性は非常に大きく、政府は同分野における世界的リーダーとしてアイルランドを発展させる目標に積極的に取り組んでいます。

中でも重視されているのが海洋エネルギーと風力エネルギーで、各種の支援策がその成長を牽引しています。明確な目標が掲げられ、インフラ面における積極的取り組みもすでに進んでいます。

#### エンターテインメントとメディア

世界的に定評のあるアイルランドの創造性とコミュニケーション能力はエンターテインメントとメディアの開発分野でも遺憾なく発揮されています。この分野は以下のようにさらに細かく分類できます。

デジタル・メディア、  
ソーシャル・ネットワーキング、  
サーチ・エンジン、インテグレートッド・  
テレコミュニケーション、電子ゲーム、  
映画・TV、知的財産管理・流通

アイルランド政府産業開発庁はこうした分野における様々な企業に対して、アイルランドを欧州拠点あるいは世界拠点とするメリットをアピールし、誘致に成功してきました。ナショナル・デジタル・リサーチ・センターはダブリンのデジタル・ハブに位置し、デジタル・メディア製品開発におけるクリエイティブ、技術、研究、教育分野へのアクセス機会を提供してきました。

#### コンバージェンス時代の到来

コンバージェンスはアイルランドのスマート・エコノミーの中核を形成しています。変化し続ける世界の中で柔軟性と適応力が求められるのは労働人材のみではありません。企業も収益性の高い新しいビジネスチャンスを開き出すためには創造性と異業種間の連携への積極的姿勢が求められるのです。コンバージェンスは科学、エンジニアリング、メディア、ヘルスケアなどに関連し、様々なテクノロジーが融合し、新たな価値を生み出すものです。コンバージェンス戦略を既に採用し、そのメリットを最大限受ける可能性がある分野としては、医薬品、バイオ医薬品、医療機器、ICT、食品産業が挙げられます。これらの分野はアイルランド政府が戦略的重点分野と設定している産業分野と一致するため、アイルランドはコンバージェンスが生み出す新たな機会に対して、有利な足場を築いています。

# Vibrant RD&I investment Ireland has signed double taxation agreements with 51 countries

活発な研究開発投資

51カ国と二重課税防止条約を締結

アイルランドの最重要産業分野としての

医薬品、バイオ医薬品、医療機器、ICT、食品産業は

年間約1000億ユーロ相当の輸出に貢献

Pharmaceutical, BioPharmaceutical,  
Medical Technology, ICT & Food  
industries represent Ireland's most  
important sectors accounting for close  
on €100 billion per annum in exports



## Where special skills apply

### 専門技術が活躍する国

#### 高価値製造

バリューチェーンの上流を目指すことは、アイルランドの製造業の将来にとって重要なことです。多くの企業がバリューチェーンの上流分野で事業展開しています。アイルランド政府産業開発庁は高価値製造の成長実現に積極的に取り組み、次に挙げる4分野への外国直接投資の確保を重視しています。

資本・技術集約型業務、高価値商品生産、パイロット/短期製造プロジェクト、フルフィルメント業務

#### イノベーション創出研究開発

アイルランドの活発な研究開発は2008年の外国直接投資の中で22%の伸びを達成しました。成長のけん引役となったのは、産学官および規制当局が連携した並外れた取り組みにあります。ビジネスを優遇する政府方針の賜物といえます。

#### グローバル・ビジネス・サービス

国際的に事業を展開する企業は、自らの「ホーム」と呼べる中核拠点を必要としており、アイルランドはユニークな立地条件でそのニーズに応えています。今日のアイルランドはすでに世界的ビジネス・ネットワークを包括的に対象としたビジネス・サービス提供の主要拠点となっています。一流企業が戦略的ビジネス・ツールとしてアイルランドにビジネス・センターを置き、これにより世界各国の人材・資源を有効活用して競争力を最大化させています。

実績ある「チーム・アイルランド」が、貴社のお手伝いをさせていただきます。

“To date our Irish operations have proven their ability to implement additional investments and new activities with great success

「今日まで我が社のアイルランド拠点は追加投資と新規事業を成功裏に遅延なく実施する能力を見事に発揮しています。このことから、アイルランドに新しく設立する施設は、我が社の厳しい期限設定と高度の基準を満たして建設され、稼動することを確信しています。」

メルク国際ワクチン製造担当上級副社長、ジョン・T・マカビンス氏

Dr John T McCubbins

Vice President of Global Vaccine manufacturing for Merck & Co., Inc.

# Where there are stories to be told

誇るべき実績が作り出される国

## アルプス電気

アルプス電気は世界的大手電子部品メーカーです。アイルランド子会社のアルプス・エレクトリック・アイルランド・リミテッドは、コンピュータ周辺機器の製造拠点として1988年コークに設立にされました。今日、アルプス・エレクトリック・アイルランドは主に、ヨーロッパの自動車業界向けに温度調節ユニット、ドアモジュール、その他車内インターフェース製品を製造しています。アルプス・エレクトリック・アイルランドは、アルプス電気がEU域内で販売する自動車製品の約4割を製造しています。主要取引先は、ボルボ、BMW、ホンダ、ジャガー、ランドローバー、PSAなどです。コーク施設では、現在430人が働いており、2004年から開発業務にも着手しています。

## アステラス製薬

アステラス製薬は、革新的な医薬品を通じて世界中の人々の健康に貢献している研究開発型の製薬会社です。同社は様々な治療戦略を展開していますが、中でも循環器、泌尿器、免疫疾患、感染症などの領域が売上の多くを占めています。アステラス製薬は日本第2位の製薬企業であり、世界の製薬企業の中で18位です。同社はアイルランド国内に2箇所の拠点を持っています。ケリー州の製剤工場では、

同社主力製品の免疫抑制剤「プログラフ」を製造、ダブリンにある工場では様々な医薬原体を製造しています。アステラス製薬はアイルランドに製造拠点を置くことで、世界中で増え続けている同社製品の需要に効率よく対応しています。

## ビッグフィッシュゲームズ(Big Fish Games, Inc.)

誰もがプレイしたい。これがビッグフィッシュゲームズのやり方です。ビッグフィッシュゲームズは、ダウンロードゲーム、コミュニティゲーム、マルチプレイヤーオンラインゲームなど、双方向エンターテインメントのウェブサイトを運営する大手ゲーム企業です。この漸進的な企業は2009年、同社欧州ハブ拠点の立地先にアイルランドを選びました。

新オフィスはコークに設置され、ヨーロッパの各国言語によるカスタマーサポート、ゲームテスト、ローカリゼーションなどを行います。同社は現在、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、日本語のポータルサイトを通じて世界各地のユーザーに向けて毎日150万以上のゲームを発信しています。ビッグフィッシュゲームズがアイルランドを最適な事業拠点として選んだのは、同社の世界事業展開に必要とされる高いスキルを持ったマルチリンガル人材を確保できるからです。

## シティ (Citi)

グローバルな金融コングロマリット、Citiのアイルランドにおける歴史は古く、1966年から事業を展開し成功を収めています。現に、ダブリンの国際金融サービスセンター(IFSC)にある拠点は、同社の欧州拠点で3番目に大きいもので、グローバル・コーポレート及びインベストメント・バンク部門のグローバル・トランザクション・サービス業務の主要取引拠点の役割を担っています。Citiは、銀行業務やファンドサービス、国際証券業務をはじめとする幅広い金融サービスなど、多様な事業を展開しています。2005年にはダブリンに、欧州・中東・アフリカの拡大しつつある事業に向けた新たな取り組みを策定する任務を担う中核的研究開発拠点、グローバルセンター・オブ・リサーチ&ディベロップメント・エクセレンスを設立しました。Citiは現在、アイルランドの大学や中小企業と提携して、次世代の電子バンキングによる顧客サービスに多大な投資を行っています。

## 大和証券グループ

日本で業界第2位の証券グループ、大和証券グループはアイルランドで、大和ヨーロッパファンドマネージャーズ (アイルランド) リミテッドと大和ヨーロッパトラステーズ (アイルランド) リミテッドの2つの事業を

“The talent pool in Dublin is world class and recruiting local talent will help us better understand the needs of local users and regional dynamics that, in turn, can give us better insight into what features matter most”

「ダブリンの人材市場は世界クラスであり、地元の人材を雇用することで現地ユーザーのニーズや地域性がよく判るようになりました。これを土台に将来の展望もより具体的に予測が可能となっています。」

フェイスブック 最高執行責任者 (COO) シェリル・サンドバーグ

Sheryl Sandberg  
Facebook Chief Operating Officer

# Where there are stories to be told

誇るべき実績が作り出される国

展開しています。1990年からファンド管理を開始、ダブリンではヘッジファンド管理で長い歴史を持つ企業のひとつと数えられています。ダブリンの国際金融センター(IFSC)に進出した日本の金融機関の先駆けである同社は世界各地の顧客に対し、ファンド管理、信託、グローバル・カस्टディ・サービスなどを提供しています。また同社は2007年ダンダークにヘッジファンド管理の事業を設立しました。

## フェイスブック (Facebook)

ソーシャルネットワークサイトの出現により、個人間コミュニケーションの世界は大きく様変わりしました。世界全体で1億7500万人が参加するフェイスブックが、このコミュニケーション革命を象徴するブランドのひとつであることは間違いありません。フェイスブックが2008年にダブリンに設立した欧州拠点では今後、オンライン業務や販売、オンライン広告キャンペーンの実施を管理していきます。さらにダブリンでは、フェイスブックの国際業務の中心地として、欧州・中東・アフリカ全域の顧客に向けたさまざまなオンラインの技術、営業、業務サポートも提供していきます。フェイスブックのアイルランド進出は、国境を越えて活躍する多国籍企業に対しアイルランドが強みを提供し続けていることを明確に示すとともに、アイルランドの人材には独

創的な方法で競争優位を実現するスキルと能力があることを保証するものです。

## ガーラ

ガーラは、日本の代表的なオンラインゲーム会社です。同社は2006年にガーラネットワークスヨーロッパを設立、ダブリンから欧州事業全体を統括しています。アイルランドでの事業の成功を踏まえ、同社は拡張を重ね、グループのゲーム開発子会社 Aeonsoft と nFlavorからのゲームタイトル、そして Astrum Nival、Barunson Interactive、XPEC、Snail Games、Noriaといった他社開発のゲームタイトルのライセンス供与業務、全世界のライセンスの管理、ローカリゼーション業務、パブリッシング業務、欧州各国向けマーケティング業務、ホスティング、カスタマーサポートなどを担当しています。アイルランド子会社の事業拡張の一環として、新規市場参入、新ゲームタイトルのリリース、新しい言語によるサービス開始、さらなる他社開発のゲームのライセンス供与業務など数々の業務が追加される予定です。アイルランドは同社事業の拡大に必要とされる技能と外国語スキルを容易に確保できるため、ガーラネットワークスヨーロッパは今後も継続的な成功と発展が見込まれています。同子会社はますます力をつけて現在100人のスタッフを雇用しています。

## グラクソ・スミスクライン (GlaxoSmithKline -GSK)

グラクソ・スミスクラインは、世界有数の製薬会社です。1974年にアイルランドに進出し、コークに製造・研究開発と欧州内の輸出入の2拠点、ウォーターフォードとスライゴに製造拠点を有しているほか、ダブリンではセールス&マーケティング活動を展開しています。グラクソ・スミスクラインの世界的なネットワークのなかでも、コーク工場は戦略的な新製品の導入拠点として位置づけられています。グラクソ・スミスクラインの研究開発活動には、アイルランド政府産業開発庁とアイルランド科学財団による共同支援のもと、ユニバーシティ・カレッジ・コークのアリメンタリー・ファーマバイオティク・センター (APC) と共同で実施した胃腸障害に関する画期的なプロジェクトや、トリニティー・カレッジ神経科学研究所およびアイルランド国立大学ゴールウェイ校と共同で実施したアルツハイマー病に関する研究開発・イノベーションのプログラムなどがあります。

## IBM

1956年にアイルランドに進出したIBMは、最も早期にアイルランドに進出した大手多国籍企業のひとつとして、アイルランドで確固たる名声を築いています。IBMは、高度な情報技術

とサービスを提供する世界有数の企業です。IBMアイルランドは、同社のグローバル事業における戦略的拠点へと発展してきました。現在は、基礎研究、ソフトウェアエンジニアリング、サプライチェーン・マネジメント、欧州全域を対象としたテレセールスや技術支援サービスといった高価値の戦略的ミッションを展開しているほか、国際データセンターや国際トレジャリーセンターも運営しています。近年では、欧州初となるクラウドコンピューティング・センターを設立し、アイルランドの大学との連携による共同研究プロジェクトなどに取り組んでいます。IBMアイルランドは現在、3500人を超える従業員を有しています。

### インテル (Intel)

インテルは世界最大の半導体チップメーカーで、マイクロプロセッサ市場で75%のシェアを獲得しています。「革新あるのみ」というスローガンを掲げるインテルは、常に企業理念に沿った活動を推進しています。アイルランドにおける最新の革新的な取り組みとして、ピアツーピアネットワーク、デジタルヘルス、モビリティ・ソリューション、教育用途のデプロイメントシステムなど、多様な最先端技術を駆使したアプリケーションの研究開発拠点であるインテル・ラボ・ヨーロッパの設立が挙げられます。インテル・アイルランドは、1989年に設立されて以来、多大な発展をとげてきました。インテルはアイルランド国内で有力な雇用主であると同時に、アイルランドの国内サプライヤーのサービスや製品の大規模ユーザーでもあります。また、アイルランドの主要な輸出企業として、年間20億ドルを超える海外売上高を誇っています。

### メルク (Merck & Co)

売上高世界8位のグローバル・ヘルスケア・カンパニーのメルクは、未だ十分な対処が行われていない医療ニーズに応えるため、ワクチンや医薬品の発見、開発、販売に継続的に取り組むという強い信念を持っています。メルク・アイルランドは1976年にティベラリー州に設立されました。同州の大規模工場で生産される医薬原体は、米国を除く世界中のメルクの工場で使用されています。また、研究開発および市場投入を目的に新設された施設では、新たに承認された医薬品を固形製剤やカプセル剤として開発、生産していく予定です。カーロウには、世界市場向けの新規および既存のワクチンの開発と製造を担う新たな施設も建設中です。

### マイクロソフト (Microsoft)

マイクロソフトは世界最大のソフトウェア企業です。アイルランドには1985年に初めて進出し、製造工場100人を雇用しました。それ以来、マイクロソフト・アイルランドは同社最大のオペレーションセンターに発展し、現在ではダブリン拠点に1800人が勤務しています。アイルランドには、マイクロソフト EMEA オペレーションセンター (EOC)、マイクロソフト・ヨーロッパ・ディベロップメント・センター (EDC)、マイクロソフト・セールス・マーケティング & サービス・グループ (SMG) の3部門を有し、欧州・中東・アフリカ (EMEA) 全域のビジネスを支援しています。アイルランドは2007年に、マイクロソフトが5億ユーロを投じた EMEA データセンターの設立地に選ばれました。本センターでは、マイクロソフトの「ソフトウェア+サービス」戦略における新プラットフォームのホスティングを行うほか、欧州と中東の顧客を対象とした同社初のクラウドコンピューティング・サービスセンターとしての役割を果たしていきます。アイルランドが大規模な投資先に選ばれた主な理由としては、高いスキルと鋭いビジネス感覚を兼ね備えたアイルランドの経営チームおよびオペレーションチームの存在があげられます。

### ブルデンシャル・ファイナンシャル (Prudential Financial)

ブルデンシャル・ファイナンシャルは、米国有数の金融機関であり、生命保険事業およびアセットマネジメントサービスで長い歴史を誇っています。同社のアイルランド子会社であるブラメリカ・システムズ・アイルランド・リミテッドはドニゴール州レタケニーにあり、ソフトウェア & ビジネスソリューションセンターとして機能しています。ブラメリカの事業は、主に金融商品の管理とマーケティングをサポートするための最先端技術に基づいたソリューションのリエンジニアリング、開発、保守に力を入れています。ブラメリカコールセンターもドニゴールにあり、専用の保険契約対応や洗練されたカスタマーサービスを提供する、マルチカスタマー、マルチスキルの事業へと大きく発展しました。

### シーメンス (Siemens)

シーメンスは、インダストリー、エネルギーおよびヘルスケア業界向けに製品、システム、サービス、ソリューションを提供するグローバル企業です。アイルランドでは80年以上前から事業を展開しており、1926年のシャノン水力発電計画をはじめとする数多くの主要なインフラプロジェクトに関わって

きました。これまでに主なプロジェクトとして、多くの発電所の建設や大規模輸送ソリューションの構築を手がけてきたほか、アイルランドの病院向けに最新の医療画像システムも納品しています。アイルランドのシーメンスには高度な技術を有する従業員が勤務しており、その数は1000人を超えます。複数部門にまたがる事業展開と技術リーダーシップ、そしてアイルランドにおける強い存在感を兼ね備えたシーメンスには、アイルランドの将来のニーズに応えるために必要なソリューションを提供する体制が整っています。将来を保証する革新的な同社ソリューションは、顧客に競争優位をもたらすと同時に、収益力ある成長基盤を築くものです。

### 武田薬品工業

武田アイルランドは、日本最大の製薬会社、武田薬品工業の全額出資子会社です。武田アイルランドは、武田薬品工業の最先端製品を世界市場に提供するための製造拠点として、1997年に設立されました。最初の製造工場の完成後、1999年には新製品の製造を開始し、その後も次々と事業を展開してきました。武田アイルランドは2009年に、ダブリンのクロナルキンにあるグレンジキャッスルに、最先端技術を駆使した医薬原体の製造工場を新設しました。複数製品を生産するこの新工場と、ウィックロー州のブレインにある従来の製剤工場は、有効成分から固形経口製剤にいたるまでの全プロセスを網羅する総合施設を備え、武田薬品工業の戦略的製品の海外生産拠点としての役割を果たしていきます。

### トレンドマイクロ

東京に本社を置くトレンドマイクロは、ウイルス対策業界の世界的大手です。トレンドマイクロは2003年、コークに欧州・中東・アフリカ (EMEA) 地域を統括するオペレーションセンターとして完全子会社トレンドマイクロ (EMEA) リミテッドを設立しました。設立当初の事業内容は、EMEA 地域の事業ユニットのバックオフィスサポートを提供するシェアードサービスセンター業務でしたが、以降拡張を続け、ファイナンシャルプランニング & アナリシス、会計、財務、給与計算、社内監査を含む金融シェアードサービス、ビジネスアプリケーションサービス、IT サービス、様々なレベルのテクニカルサポート、カスタマーケア、オンライン登録ヘルプデスク、電話によるセールス & マーケティング、契約更新管理、人事など幅広い業務を担当しています。

# Working with you 貴社とご一緒に

## ワン・ストップ・サービス

アイルランド政府産業開発庁は、対内直接投資促進を目的とした政府機関です。当庁は外国企業と提携して新規投資を確保し、またアイルランド国内に既に進出を果たした企業の業務の拡大・発展を促します。

## 産業団地／ビジネス・パーク

企業が求める最善の条件の中には、適切な立地条件も含まれます。アイルランド政府産業開発庁の戦略は、外国直接投資誘致における国内各地の潜在能力の強化を重視し、都市部および地方部における重要インフラ、不動産、大規模用地へ戦略的投資を行う国家プログラムを推進しています。地方の開発を促進するため、国家空間戦略に基づき、ゲートウェイとハブのネットワークを通じて十分な事業規模とクリティカルマスを達成できる用地の創設が提唱されています。アイルランドの全ての地方が海外投資の恩恵を受けており、当庁

は貴社が最適な立地を検討される際にも支援いたします。

## 資金援助と優遇措置

海外からアイルランドへの直接投資を検討中の企業に対しては、資金援助や補助金を含む様々なサービスや優遇措置が用意されています。アイルランド政府産業開発庁はアイルランドに進出している企業の業務開発と発展を継続的に奨励・支援します。

## アイルランド政府産業開発庁は広範なサービスを駆使して企業のアイルランド進出を支援します

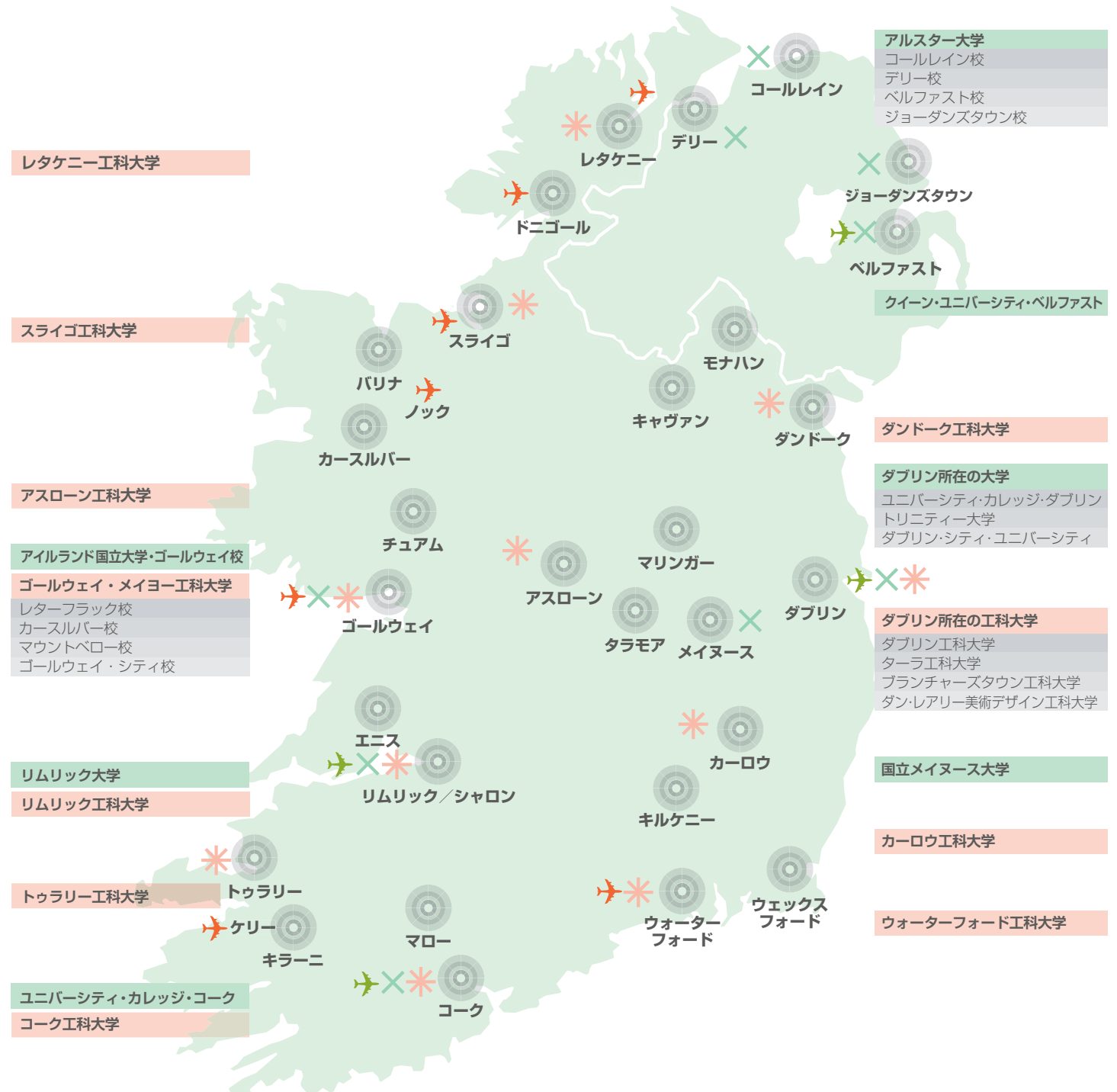
- ・アイルランド国内の主要産業部門および立地先に関する情報・統計データの提供
- ・アイルランド国内での事業上げの支援
- ・国内各地の地場産業、自治体、サービス業者、研究機関や教育機関の紹介
- ・不動産に関するアドバイス

## 他の政府機関との提携

アイルランド政府産業開発庁 (IDA Ireland) は、アイルランド科学財団 (SFI: Science Foundation Ireland)、アイルランド持続可能エネルギー局 (SEI: Sustainable Energy Ireland)、アイルランド政府商務庁 (Enterprise Ireland) などの政府機関と連携し、外国直接投資を促進しています。

詳しい情報は、[www.idaireland.jp](http://www.idaireland.jp) のホームページを参照されるかアイルランド政府産業開発庁駐日代表部にお問い合わせください。

- ◎ 主要都市
- × 大学
- ✱ 工科大学
- ✈ 地方空港
- ✈ 国際空港



## アイルランド政府産業開発庁

### 駐日代表部

〒102-0083

東京都千代田区麹町2-10-7

アイルランドハウス2階

Tel: 03-3262-7621

Fax: 03-3261-4239

Email: idatokyo@ida.ie

Website: <http://www.idaireland.jp/>

# Contact us

<b>IRELAND</b> <b>Head Office</b> IDA Ireland Wilton Place Dublin 2 Ireland Tel: + 353 1 603 4000 Fax: + 353 1 603 4040 Email: <a href="mailto:idaireland@ida.ie">idaireland@ida.ie</a> Website: <a href="http://www.idaireland.com">www.idaireland.com</a> <b>Athlone</b> Athlone Business & Technology Park Garrycastle, Dublin Rd Athlone Westmeath Tel: +353 (0) 90 64 71500 Fax: +353 (0) 90 64 71550 <b>Cavan</b> C.I.T.C Building Dublin Road Cavan Tel: +353 (0) 49 436 8820 Fax: +353 (0) 49 433 2047 <b>Cork</b> Industry House Rossa Avenue Bishopstown Cork Tel: +353 (0) 21 480 0210 Fax: +353 (0) 21 480 0202	<b>Donegal</b> Portland House Port Road, Letterkenny Donegal Tel: +353 (0) 74 916 9810 Fax: +353 (0) 74 916 9801 <b>Dundalk</b> Finnabair Business Park Dundalk Louth Tel: +353 (0) 42 935 4410 Fax: +353 (0) 42 935 4411 <b>Galway</b> Mervue Business Park Galway Tel: +353 (0) 91 735 910 Fax: +353 (0) 91 735 911 <b>Limerick</b> Roselawn House National Technology Park Limerick Tel: +353 (0) 61 200 513 Fax: +353 (0) 61 200 399 <b>Sligo</b> Finisklin Business Park Sligo Tel: +353 (0) 71 915 9710 Fax: +353 (0) 71 915 9711 <b>Waterford</b> Waterford Technology Park Cork Road Waterford Tel: +353 (0) 51 333 055 Fax: +353 (0) 51 333 054	<b>EUROPE</b> <b>France</b> IDA Ireland 33 rue de Miromesnil 75008 Paris Tel: +33 (0) 1 43 12 91 80 Fax: +33 (0) 1 47 42 84 76 <b>Germany</b> FBC Frankfurter Büro Center Mainzer Landstr. 46 60325 Frankfurt am Main Tel: +49 (0) 69 706099 0 Fax: +49 (0) 69 706099 70 <b>Russia</b> Embassy of Ireland Grokhol'ski Pereulok 5 Moscow 129010 Tel: +7 495 937 5911 Fax: +7 495 737 5492 <b>United Kingdom</b> Shaftesbury House 151 Shaftesbury Avenue London WC2H 8AL Tel: +44 (0) 20 7379 9728 Fax: +44 (0) 20 7395 7599 <b>USA</b> <b>Atlanta</b> Monarch Plaza Suite 350 3414 Peachtree Road N.E., Atlanta GA 30326 Tel: +1 404 816 7096 Fax: +1 404 846 0728	<b>Boston</b> 31 Saint James Avenue 7th Floor, Boston MA 02116 Tel: +1 617 357 4190 Fax: +1 617 357 4198 <b>California</b> 3 Park Plaza, Suite 430, Irvine CA 92614 Tel: +1 949 748 3547 Fax: +1 949 748 3586  800 W El Camino Real Suite 450 Mountain View CA 94040 Tel: +1 650 967 9903 Fax: +1 650 967 9904 <b>Chicago</b> 77 West Wacker Drive Suite 4070 Chicago IL 60601-1629 Tel: +1 312 236 0222 Fax: +1 312 236 3407 <b>New York</b> 345 Park Avenue, 17th Floor New York NY 10154-0004 Tel: +1 212 750 4300 Fax: +1 212 750 7357	<b>SOUTH AMERICA</b> <b>Brazil</b> Av. das Nações Unidas, 12551 - 17 andar 04578-903 S. Paulo - SP Brazil Tel: +55 11 3443 7080 Fax: +55 11 4992 0406 <b>ASIA-PACIFIC</b> <b>Australia</b> Ireland House Suite 2601, Level 26 1 Market Street Sydney NSW 2000 Tel: +61 2 9273 8524 Fax: +61 2 9273 8527 <b>China</b> Suite 655 Shanghai Centre 1376 Nanjing Road West Shanghai 200040 Tel: +86 21 6279 8500 Fax: +86 21 6279 8505 <b>India</b> 501, 5th Floor Blue Wave Building B/h Kuber Complex Off Oshiwara Link Road Andheri (West) Mumbai-400 053 Tel: +91-22-42178900 Fax: +91-22-42178999	<b>Korea</b> 13th Floor Leema B/D 146-1 Susong-dong, Jongro-ku Seoul 110-755 Tel: +82 2 755 4767/8 Fax: +82 2 757 3969 <b>Taiwan</b> 7FL-12, No.41 Nanking W. Road Taipei 103 Taiwan Tel: +886 2 2552 6101 Fax: +886 2 2550 7220
---	---	--	--	---	--

SMART THINKING GREEN GOING PLACES PRO-BUSINESS PRODUCTIVE GLOBAL INNOVATING CREATIVE CONVERGING WINNING VIBRANT WELCOMING IRELAND, WHERE ELSE?

# Ireland

# Where else?

アイルランド  
まさにうってつけの国

[www.idaireland.com](http://www.idaireland.com)

